

特定非営利活動法人

Newsletter

介護の社会化を進める

MIYAGI

一万人市民委員会宮城県民の会

第108号

【平成26年1月1日】

*** 発行人 ***

特定非営利活動法人

介護の社会化を進める一万人市民委員会宮城県民の会
代表理事 大川 昭雄

あけまして
おめでとう
ございます

平成二十六年正月

再び呼びかける「地域包括ケア」の夜明けを 〜〜一万人市民委員会宮城代表 大川 昭雄〜〜

2014年（十二支の午年）の運勢は、「2014年から2018年まで緩やかに、運気が上昇していきますので充実させた運気の波に乗せていくには、2016年～2017年の2年間の忍耐が最も重要です。」とあります。

2年前「宮城に地域包括ケアの夜明けを」の呼びかけで始まった「地域包括ケア」とは、施設に入っていないとも、ナースコール（電話）一つで、「365日」「24時間」「切れ目のないサービス」を、「定額」で受けられるサービスです。

その後、地域包括支援センター協議会議長など皆さんの大筋の合意により、宮城は、特養ホームが中核となって進めることとしました。

そして、「地域包括ケア」の中核を担う特養には、それに相応しいサービスが求められるとして、2012年7月～8月には、特養が複数以上ある法人に、3年間で傘下全特養の第三者評価の受審をお願いしました。

その結果、「バルシア」「白東苑」「常盤園」「うらやす」と、リーダー的施設が既に終了し、「地域包括ケア」の体制がほぼ整っていることが確認され、望外の幸せと喜んでおります。この後「いなほの里」などが続いています。

しかし、残念ながら10年前の独自評価のときのような勢いはありません。

一方、本来の目的である「地域包括ケア」は、第三者評価に集中したため、合意づくりが遅れていることも事実です。

現在、高齢者福祉団体協議会（仙台市老人福祉施設協議会、地域包括支援センター協議会、グループホーム協議会など）の高橋治会長と、コンタクトをとっているところです。

「当たるも八卦」「当たらずも八卦」という諺もありますが、この午年の運勢は、気づきの再確認となったことに感謝したい思いです。

第三者評価は、あせらず、じっくり、ねばり強く、決して諦めず。

地域包括ケアについても、特区先行方式でなく、「宮城（利用者）の、宮城による、宮城のための」地域包括ケアを、じっくりと再構築しましょう。

新年に当たって、これで、あらためて、合意形成を計ることを提案します。



～家族の思い・願いを事業所に伝え、サービスの質の向上に向けて、事業所と共に考える～

当機関は、事業所を外部評価するにあたって参考資料とする「家族アンケート」を実施している。事業所のサービスやケアの振り返り・客観的検討事例としての参考資料に活用していただけるよう、24年度分を集計し、コメントの集約を行ったものである。

これは、その集計結果を抜粋したものである。総じて、事業掛職員への感謝の言葉が多く、要改善記述に関しては職員の対応やケアに関わることが挙げられ、介護に対する家族的的確な視点を感じさせる。本集計が介護サービス向上の一助となることを期待し、参考にさせて頂ければ幸いです。

① 職員は家族が困っていること、不安、求めていること等の話をよく聞いてくれますか

☆良い点・優れている点

- 長い時間をかけて、いろいろな話を聞きだしてくれる。
- 年に数回、個別の相談の時間をとってもらっている。
- 家族のことも気に掛けてくれて、それについて電話などくれる。

★要望・改善点等

- 聞いてくれるが改善姿勢がない。
- マッサージ施術を提案したが実現していない。
- 職員によって対応に差がありすぎる。

② 本人の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動について報告がありますか

☆良い点・優れている点

- 生活ぶりや食卓の写真を送ってくれるので、生活の様子が分かり安心できる。
- 電話または訪問時に状況報告がある。
- 近況報告と会計報告(レシート付)が送られてくる。

★要望・改善点等

- 職員異動の報告がない。
- 毎日の支援状況の記録をオープンにして欲しい。
- 介護度に変更があったのに知らせて貰えなかった。

④ 職員は、本人の思いや願い、要望等を分かってくれていると思いますか

☆良い点・優れている点

- 本人が言わなくても仕草などを見て対処してくれている。
- 家族の分からなかったことも本人から聞き出してくれる。
- 本人の出来ること、出来ないことを良く理解している。
- 自分でやるという本人意思を尊重して支えてくれている。
- 個性(人の世話焼き、縫い物)を理解し、好きなことを気分良くさせて貰っている。

★要望・改善点等

- ホームで決めたことに拘わらず、本人の状態に合わせて柔軟に対応して欲しい。
- 昼夜逆転しているので、昼は起きてて欲しいと言ったが「本人が寝たがるので」と言われた。
- 本人が言いにくいこと(下着の交換など)は声がけしてやって欲しい。

⑥ サービスを利用することで、本人の生き生きとした表情や姿が見られるようになりましたか

☆良い点・優れている点

- 特技が活かせて、趣味を楽しんでいる。
- 調理の味付けや後片付けを喜んでいる。
- 本人の良いところを見て、仕事をさせてくれている。
- 本人の気持ちを優先しながら「これは出来ると思うよ」と促して、意欲を引き出している。

★要望・改善点等

- 何に対してもやる気が見られなくなった、益々悪くなる、しかし、しょうがないと思う。
- 症状が悪くなった、表情もなく、言葉も発しなくなった。
- ホームの椅子にただ座っているかベッドに横になっている、トイレの往復だけ・・・

③ 職員は、本人の介護計画を、家族に分かりやすく説明し、一緒に内容に関する話し合いをしていますか

☆良い点・優れている点

- 計画書を見て、説明を受けている。
- 本人の好みや、やりたがっていることを計画に入れた。
- 本人への家族の思いを伝え、分かってくれ実践してくれる。

★要望・改善点等

- 介護計画の説明を受けたことがない。
- 質問すれば説明してくれるが、聞かなければどんな介護をしているか分からない。
- 説明は受けたが、介護計画書作成は一方的だった。
- 本人のためには強制的にでも体を動かして貰いたい。

⑤ 職員は、家族や本人のその時々状況や要望に合わせて、柔軟な対応をしていますか

☆良い点・優れている点

- 本人の意見を家族に言ってくれる。
- 同じことの繰り返しでも、その都度しっかり聞いてくれる。
- 要望に対する実施案を出してくれる。
- 家族の提案を真摯に聞いてくれる。

★要望・改善点等

- 本人から手を貸して欲しいと言われ、職員にお願いしたが断られたことがある。
- 他の入居者の手前と言って乳飲料の習慣を止められた。
- 本人の言いなりで家族の職場に電話があった、言いなりばかりでは困る。

7 職員に支援されながら、戸外の行きたいところへ出掛けていますか。

☆良い点・優れている点

- 今まで行ったことのない所にも連れて行ってくれる。
- 天気の良い日は、車椅子でも外出させてくれる。
- 本人は出たがらないが上手に連れ出してもらっている。
- お便りの写真で外出先の様子が良く分かります。

★要望・改善点等

- ほとんど外出していないようだ。短時間でも外出の機会があれば嬉しい。
- 公園などに出て、地域の人と触れ合う機会をつくって欲しい。
- 座っているだけでなく、せめてホーム内でも散歩させて欲しい。

9 グループホームは家族が気軽に訪ねて行きやすい雰囲気ですか

☆良い点・優れている点

- 連絡なしでも、何時も明るく対応してくれる。
- 明るい挨拶と笑顔で迎えてくれるので、とても訪問しやすい。
- 他の利用者とも家族のようです。

★要望・改善点等

- 職員によって対応はバラバラだ。
- 職員のその時の気分で言うことが違うので行き難い。
- 玄関に入って、誰も出て来ず、入居者が迎えてくれた。
- 何時も忙しそうで、声をかけられる状況にない。

11 家族から見て、本人は今のサービスに満足していると思いますか

☆良い点・優れている点

- ホームに入って明るくなった。
- 手伝ったことを得意に話している。
- 本人から行事などの楽しかった話が聞ける。
- 本人からスタッフへの感謝の言葉を聞くことがある。
- 感情的になり涙を流した時に、一緒に泣いて話を聞いている。
- 本人が「自分の家」だと言っている

★要望・改善点等

- 本人は意外と職員に気を使っていて、言いたいことを言えていないことに気付いて欲しい。
- 「暇だ」と言う、役割や仕事の実感が持てる工夫があると良い。
- 本人に出来る事はやらせて欲しい。

【考察抜粋】評価コメントの記述内容は利用者・家族の思いに沿った生活支援に対するものであり、本人の笑顔が見られることに感謝する内容が多かった。要改善コメントの記述内容では、職員の離職や接遇に対する不満や危惧の声が多かった。職員の確保や教育に関しては、事業所の課題であると同時に社会的問題でもある。当機関においても機会を捉えて、制度の改善に係わりたいと考えている。長期入院後の受け入れや機能低下による介護度の進行によ

8 サービスを受けていて、健康面や医療面、安全面について心配な点はないですか。

☆良い点・優れている点

- 診断を受けて医師の対処指示に丁寧に取り組んでくれたので改善できた。
- 体調の変化や行動の観察が丁寧に素早い対応をしてくれている。
- 入居者一人ひとりの健康状態や本人が心地よく生活できるための対応が来ている。

★要望・改善点等

- 忙しいのは分かるが、たまには車椅子を外して歩かせて欲しい。
- 無理強いしない方針とのことで、3週間くらい入浴していない時があった。
- 医師から粥食と言われたが「一人だけお粥と言うわけにはいかない」と普通食だった。

10 家族から見て、職員は生き生きと働いているように見えますか

☆良い点・優れている点

- 挨拶の声、表情が明るい。
- 雰囲気が明るく、挨拶がきびきびしている。
- 良い職員教育をしていると感心している。
- 清々しい表情で機敏な動き。

★要望・改善点等

- 職員が仲悪そうに感じたことがある。
- 職員同士が楽しそうにおしゃべり(私語)している。
- たまに大丈夫かなと思う職員がいる。
- やる気のなさそうに、利用者と話す訳でもなく、ただ座っているだけの職員を見てがっかりした。
- すべて、事務的、職員の入れ替わりが多すぎる。
- 迷惑なのか、職員に疲れたような表情をされる。

12 家族は、今のサービスに満足していますか

☆良い点・優れている点

- 引継ぎが良く出来ていて、どの職員に聞いても同じ回答がある。
- 職員が笑顔で、声掛け、目配り気配りが行き届いている。
- 人を尊重する態度や機能を低下させないケアをしている。
- 本人の生きがいを引き出し、心に寄り添った介護をしてくれる。

★要望・改善点等

- 一人の職員に話したことが他の職員に伝わっていない。
- 手を掛け過ぎている、面倒だから職員がすぐやっつけている。
- 本人の前で「顔色が悪い」とかマイナス発言は注意して欲しい。

って、重度化・終末期に向けた取り組みや終の住処にしつつある現状への不安の声も聞かれる昨今である。本集計を事業所の運営やケアに活用していただくとともに、当機関は調査技術を磨きサービスの向上に貢献できるよう励んでいきたい。

第4回理事会模様

★2013年11月14日(木)、仙台市中央市民センターにおいて、理事総数19名中14名出席のもと第4回理事会が開催された。

☆議題は次のとおり

- 1、初めての10.31野外研修について
- 2、事業のあり方検討委員会について
- 3、福祉サービス第三者評価の調査、営業活動について
- 4、介護サービス情報の公表調査活動について
- 5、地域密着型サービス外部評価活動について
- 6、諸会議、研修会などの参加状況と今後の計画について
- 7、残高試算表(10月末)と今後の財政の推移について
- 8、広報、組織、総務関係の活動について
- 9、第5回理事会日程について

※2014年1月16日13時～

場所：仙台市中央市民センター

議事の詳細については事務局備付けの議事録を閲覧できます。

25年度第2回 地域密着型サービス外部評価 フォローアップ研修会の開催

★2013年11月26日(火)、仙台市中央市民センターにおいて、宮城県認知症グループホーム協議会会長 蓬田隆子氏を講師に迎えて第2回のフォローアップ研修会が開催された。



【受講生から寄せられた感想】

「認知症ケア」に必須な知識と技術を基本から、専門的かつ実践的視点で幅広く、分かりやすくお話して下さいました。

「認知症についての理解」と「認知症になった人を理解する」という事を学びました。

認知症ケアとは、自分のことすら分からなくなって不安がいっぱいの本人と、医療と、出来る限り本人が納得できる接し方を心がける介護が連携をとり、一体となって、安心と満足のあるあたり前の暮らしを送る事が出来るよう黒子的に応援するということだと分かりました。大変勉強になりました。

感想を結論から言うと、介護に「完全」や「完成」はない。全てがそのプロセスだということである。それもAさんが辿った経過は必ずしもBさんが辿るとは限らず、しかも今日のAさんに適した介護は必ずしも明日も適するとは限らない。

その事を介護者は何事も本人の状態に応じた柔軟な視点で「決め付けない介護」の大切さ(GHゆうゆう多賀城)と気付いている。

その人に合う食事、食べてもらえる食事を根気よく試行錯誤を繰り返す、もう駄目かと思つた時に新しい介護員の新しい提言がきっかけで成功するといふ、印象的な場面が報告されている。

この方は終末期と宣告されてから今日まで数年間が経過しているという。

実践報告会は第一部「おいしく食べる楽しみ」第二部「利用者や家族と向き合う」第三部「又トレス対応法」の8つのグループホーム代表が発表している。内容は単なる苦心談ではない。勿論自慢話でもない。何故なら報告を聞いているとゾーンと胸に来るものがある。「人間がどんな状態、状況にあっても、尊厳は失われてはならない」ことを介護員が具体的に努力しているからである。

私たちのグループホームに対する評価活動も折角の機会を「自らの生き方」にも生かすべきだと感じた。

NPO法人宮城県認知症グループホーム協議会
「第八回実践報告会」《平成25年11月》に参加して

副代表理事 柏倉 一男

野外研修会実施状況

※2013年10月31日仙台市太白区茂庭荘において、28名出席のもと初めての野外研修会が開催された。

当日は天候にも恵まれ、絶好の野外研修会日和の中熊谷道夫・小山照子さんの司会進行で研修が始められた。

午前中は「施設訪問ボランティア活動の実践」編で

・庄司恵子さん指導による手話ソング、栗原節子さんのハーモニカ演奏が行われた。

※昼食(芋煮・バーベキュー)をはさんで午後からは・小山照子さんのリードによる福引大作戦、合唱指導があり、和気藹々のうちに野外研修プログラムは進められた。

挨拶をする大川代表



◆手話ソングを指導する庄司さん



◆庄司さんの指導による手話ソングをやってみました

介護の社会化を進める
一万人市民委員会宮城県民の会

平成25年10月31日
於：茂庭荘(太白区)

野外研修プログラム

◆司会進行・・・熊谷道夫・小山照子

午前の部 (11:00~12:00)

★開講の辞・・・熊谷道夫

1. 代表理事挨拶・・・大川昭雄

2. オリエンテーション・・・小山照子

3. ワークショップ

(1)施設訪問ボランティア活動の実践

①手話ソング・・・庄司恵子

②ハーモニカ演奏・・・栗原節子

③ギター演奏・・・西川英明

(2)野外活動入門

昼食準備作業

芋煮作業班・・・荒井勝子・前田泰子・高野剛

バーベキュー作業班・・・團順子・早坂幸代

★昼食 (12:00~13:00)

午後の部 (13:00~14:30)

4. グループ討議発表

(1)福引大作戦・・・作戦リーダー・熊谷道夫・小山照子

(2)合唱・・・歌唱リーダー・小山照子

①ふる里

②幸せのワルツ

③花は咲く

★閉講の辞・・・柏倉二男



◆ハーモニカ演奏始めます



◆ハーモニカ演奏する栗原さん



◆福引大作戦開始



◆福引大作戦の賞品贈呈



◆芋煮とバーベキューに舌鼓

◆昼食タイム



※ご希望の方に贈呈しております。
事務局までどうぞ!

大川代表自分史を刊行
少年期、青年期、壮年期
のエピソードが50話
に纏められています。

『生活不活発病』って?

皆さん、生活が不活発な状態が続いていませんか!
「動かない」(生活が不活発な)状態が続けると、心身の機能(生活機能)が低下して、「動けなく」なります。
〜〜これが『生活不活発病』です。年のせいでも、病気のせいでもありません〜〜
そこで、『生活不活発病』のパンフレットと「生活不活発病チェックリスト」をリハビリ専門医の「大川弥生」先生と宮城県ご好意により入手しましたので皆さんにお届けします。また、「大川弥生」先生の著書3冊が送られてきております。(事務局で保管し、何時でも閲覧できるようにしています)

◆よろず相談会を開設しました

身近な困りごと、悩みごとなどの相談会を当会顧問の武田貴志弁護士、安田廣治司法書士を相談役に、両先生から法律、成年後見関係の分野に限定せず、よろず相談会として、会員の方やそのご家族がお持ちの生活全般、法律相談などに関する「なんでも」相談としていくことのご了解を頂きました。(無料です。)

- * 時間：午後1時～3時(毎回)
お一人様1回30分程度を予定
- * 場所：テルウエル相談室(一万人市民委員会宮城事務所隣り)
- * 受付電話：022-293-8158

26年1月～26年4月までの開催日と担当相談役は次の通りです。

- ・ 1月22日(水) 相談役 安田廣治司法書士
- ・ 2月18日(火) 相談役 武田貴志弁護士
- ・ 3月12日(水) 相談役 安田廣治司法書士
- ・ 4月16日(水) 相談役 武田貴志弁護士

お気軽に相談願います。

活動状況

■福祉サービス第三者評価活動

- ・ 特別養護老人ホームパルシア(仙台市)、特別養護老人ホーム白東苑(仙台市)の評価調査を行い、事業所同意を頂き、県(宮城県福祉サービス第三者評価事業)並びに当会ホームページに公表しました。
- ・ 詳細を当会ホームページへ公表いたしました。また、その評価内容概要を当会「ニュースレター」号外(平成25年10月)にて紹介しました。
- ・ 特別養護老人ホームうらやす(名取市)、特別養護老人ホーム常盤園(柴田町)の調査を終了しました。
- ・ 社会的養護施設の評価調査について、準備中です。

●地域密着型サービス外部評価活動

7月～12月の訪問調査施設合計：84施設

- ・ 認知症対応型共同生活
介護(グループホーム)施設：78施設
- ・ 小規模多機能型居宅介護：6施設
- * 自己評価及び外部評価結果は、ワムネット
<http://www.wam.go.jp> をご覧ください。

●情報の公表調査活動

9～12月の訪問調査施設合計：196施設

介護老人福祉施設	：	7施設
訪問介護	：	51施設
訪問入浴介護	：	6施設
福祉用具貸与	：	3施設
居宅介護支援	：	31施設
特定施設入居者	：	2施設
通所介護	：	54施設
訪問看護	：	7施設
認知症対応型共同生活介護	：	24施設
小規模多機能型居宅介護	：	3施設
介護老人保健施設	：	3施設
通所リハビリテーション	：	3施設
訪問リハビリテーション	：	1施設
介護療養型医療施設	：	1施設

* 公表結果は、<http://www.kaigokensaku.jp/> をご覧ください。

■特養ホームページ

Welcome. DONTOホームページに当会「みやぎ介護便利帳」として県内の特別養護老人ホームの紹介をしており、各ホームに協力頂き2013年度更新が完了しました。今年度は、新たに大崎市「楽々楽館」と白石市「みずき」の2ホームに参加頂き、54ホームの紹介をしております。

☆☆☆ 事務局雑記帳 ☆☆☆

あけまして
おめでとう
ございます



昨年は大変お世話になりありがとうございました。
今年もよろしくお願いたします。
【事務局一同】

賛助団体会員事業所紹介

当会の活動に日頃よりご支援、ご協力をいただいております賛助団体会員様の事業所のご紹介をシリーズでお送りいたしております。(あいうえお順)

本内容は、各特別養護老人ホーム様から項目にそった概要をご提示いただき、その原稿をそのまま紹介させていただきます。

なお、詳しくは次の URL: Welcome, Donto! <http://www.donto.co.jp/> をご覧ください。

特別養護老人ホーム

百才館



- 経営主体 社会福祉法人 永楽会
- 所在地 宮城県大崎市三本木字大豆坂 24 番地 3
- 電話・FAX TEL 0229-53-1261 FAX 0229-53-1264
- 開設年月 平成 12 年 12 月 1 日
- 居室改修 平成 18 年 5 月 1 日増設
- E-mail hyakusaikan@mua.biglobe.ne.jp
- URL <http://www.eiraku.or.jp>

施設紹介写真



- 左上：リビングロ
- 左下：中庭 & 玄関
- 中上：リビングロ
- 中下：レストラン
- 右上：居室



入居定員

定員別	個室	2人	3人	4人	その他	居室合計	入居総定員
部屋数	32室	4室	0室	0室	0室	36室	40名

職員体制

◆ 1:1.43

入居待機状況

平成 24 年 6 月 1 日現在

427 名

入居経費概要

居室使用料	多床室：320 円、従来型個室：1,150 円、ユニット型個室：1,970 円 ※介護保険負担限度額認定証を交付されている方は、それぞれ認定証に記載されている金額。
食事費	1,380 円/日 ※介護保険負担限度額認定証を交付されている方は、それぞれ認定証に記載されている金額。
光熱水費	居住費に含む
その他	日常生活継続支援体制加算・・・22 円/日 栄養マネジメント加算・・・14 円/日 (同意を頂いてからの算定) 看護体制加算 (II)・・・13 円/日 初期加算・・・30 円/日 (入所日から 30 日以内の期間) 貴重品管理費・・・1,000 円/月 他該当の都度徴収いたします
月額合計	介護保険制度で定められる要介護度に応じた 1 割負担分と上記金額の合計

施設の特徴

葉菜山を遠望でき、大豆坂地蔵のお膝元で自然に恵まれた環境のなか、平成 12 年 4 月、三本木庁舎（現大崎市三本木総合支所）と共に誕生いたしました。公募により、長寿を祈念し「百才館」と命名され以来、住み慣れた地域にきめ細やかな重層的サービスを提供するため、当施設のもつ機能・資源・環境を三本木地区に展開し、大崎市の多岐に渡る保健・介護予防事業、また家族・近隣住民等地域のインフォーマルなサービスと連携をとり、自立支援と“住み慣れた地域で自分らしい生活を”目指し、活動を行っております。近代的な建物の中にも心の行き届いた“安らぎ”と“まごころ”をもって、一人一人とのふれあいを大切に又、地域の一員として自覚を持ち、利用者の生活の場として最適な環境・サービスを提供いたします。

特別養護老人ホーム

寶樹苑



- 経営主体 社会福祉法人 無量壽会
- 所在地 宮城県仙台市青葉区双葉ヶ丘 2-9-2
- 電話・FAX TEL 022-275-3786 FAX 022-275-4786
- 開設年月 平成 8 年 4 月
- 居室改修
- E-mail info@mrjk.jp
- URL <http://www.mrjk.jp>

施設紹介写真



- 左上：テイルーム
- 左下：2人居室
- 中上：居室
- 右上：食堂



入居定員

定員別	個室	2人	3人	4人	その他	居室合計	入居総定員
部屋数	30室	1室	0室	17室	0室	48室	100名

職員体制

◆ 1:2.1

入居待機状況

平成 24 年 6 月 1 日現在
368名

入居経費概要

居室使用料	個室 1日 1,150円 二人、四人部屋 1日 320円
食事費	1日 1,380円
光熱水費	0円
その他	
月額合計	介護度により異なります。(詳しいことはご説明致します。)

施設の特徴

個人の思いを尊重します：障害があるがゆえに生活を制約するのではなく、当たり前な生活を保障し、サポートしていくことが、私たちの仕事だと思っています。個人の要望は出来る限り尊重し、実現していきます。安心して生活が出来るよう、職員体制を整えています。：介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員といった専門性の高い資格を有している介護員相談員等を数多く配置しており、安心してご利用いただける体制をとっております。

個々の状態に応じた栄養管理、美味しい食事の提供を心掛けています。：管理栄養士が中心に各職種と連携し栄養ケアマネジメントを実施しています。個々の状態を把握し栄養管理するとともに、食事をする喜びを感じていただけるよう、美味しい食事の提供を心掛けています。

特別養護老人ホーム



みさとの杜

- 経営主体 社会福祉法人 杜の村
- 所在地 宮城県遠田郡美里町駅東二丁目 17 番地 5
- 電話・FAX TEL 0229-33-3255 FAX 0229-33-3257
- 開設年月 平成 18 年 5 月 15 日
- 居室改修
- E-mail qqfw79gd@extra.ocn.ne.jp
- URL <http://www.morinomura.com/>

施設紹介写真



- 左上：ユニットから中庭を望む
- 左下：個室
- 中上：ユニット内浴室
- 中下：個室トイレ
- 右上：機能訓練室



入居定員

定員別	個室	2人	3人	4人	その他	居室合計	入居総定員
部屋数	室	0室	0室	0室	0室	室	名

職員体制

◆ 1:2.0

入居待機状況

平成 24 年 6 月 1 日現在

138名

入居経費概要

居室使用料	2,500 円
食事費	1,380 円
光熱水費	原則として居室使用料に含まれます
その他	日用品代など
月額合計	139,000～147,000 程度(利用のご相談の際にご説明させていただきます。)

施設の特徴

「みさとの杜」は、法人の理念である「家族主義」をテーマとして、平成 18 年 5 月に開設いたしました。ご利用の皆さんが職員と共に、なじみの関係(家族)として生活することを基本とした介護サービスを提供する施設です。そのため「みさとの杜」では日常生活を少人数制(10人ずつの単位とし、この生活単位をユニットと呼んでいます)としています。職員もユニットごとに固定化することで、一つのユニットがまるで家族のような関係になることをめざしています。

「みさとの杜」の目指しているサービスは普通の生活です。自分の部屋に居ても、家人の生活の気配を感じることができる…、それは家人(他のご利用者さんや職員)の話し声であったり、台所仕事の音であったり、洗濯機の音であったりします。時には外出をして、そのついでに食事をしたり…。また、地域の行事やお祭りをのぞいて見たり…。今までと変わらない生活感を維持できるよう支援します。

「みさとの杜」は、ご利用の皆様お一人お一人の個性や生活リズムを大切に、この考えに沿った介護サービスを提供いたします。例えば、食事や起床、就寝そして入浴の時間は自分で決めていただきます。自分の部屋の使い方も自由です。使い慣れた家具等の持ち込みや、面会に見えた方がそのまま泊まっていくことも可能です。ユニットの職員は「その人らしい生活=普通の生活」を継続できるよう支援してまいります。

「みさとの杜」の建物は、それぞれの活動目的に合わせた各スペースにより構成されています。ユニットの中には、プライベートスペースとなる個室と、ユニット内のご利用の皆様と共に過ごすリビング(セミプライベートスペース)に分かれます。そしてユニットとユニットを結ぶ廊下には他のユニットの皆様と交流できる「セミパブリックスペース」。さらに、地域の方々やボランティアの皆さんとの交流のための「パブリックスペース」も用意されています。生活が施設の中だけでなく、いつまでも地域とのかわりを持ち続けられるよう支援いたします。

特別養護老人ホーム

茂庭苑



- 経営主体 社会福祉法人 宮城県福祉事業協会
- 所在地 仙台市太白区茂庭台 2 丁目 15-20
- 電話・FAX TEL 022-281-1330 FAX 022-281-1357
- 開設年月 平成 2 年 4 月 1 日 (60 床)
- 居室改修 平成 7 年 10 月 20 日 増床 (130 床)
- E-mail moniwaen130@smile.ocn.ne.jp
- URL <http://www.moniwaen.com/>

施設紹介写真



- 左上：玄関前ロビー
- 左下：南棟フロア
- 中上：シャワーベット
- 中下：リハビリ
- 右上：余暇



入居定員

定員別	個室	2人	3人	4人	その他	居室合計	入居総定員
部屋数	19室	14室	1室	20室	0室	54室	130名

職員体制

◆ 1:1.25

入居待機状況

平成24年6月1日現在

283名

入居経費概要

居室使用料	0円～320円（所得に応じ異なります）
食事費	300円～1380円（所得に応じ異なります）
光熱水費	居室使用料に含まれます
その他	個別機能訓練加算、栄養マネジメント加算等
月額合計	30,000円～83,000円（所得により異なり、生活保護は除く）

施設の特徴

太白山を望む緑豊かな環境の中で、利用者様の人権権利を尊重して、その思いや願いに添えるような、質の高いサービスを提供します。

お客様に信頼され安心して生活をして頂くために、ISO9001を認証取得し、介護サービスの質の向上と、お客様満足の充実を図ります。

利用者様の人権権利を経営理念に掲げ、茂庭苑等老人福祉施設行動規範を作成し、職員の行動指針として事業計画書に掲載し、全職員に周知しています。

介護保険前より身体拘束廃止の取り組みを行っており、研修会等で職員の意識を高め、施設全体で徹底しております。

特別養護老人ホーム

杜の風



- 経営主体 社会福祉法人 永楽会
- 所在地 宮城県黒川郡富谷町富谷字桜田 1-11
- 電話・FAX TEL 022-779-1580 FAX 022-779-1582
- 開設年月 平成 13 年 6 月 1 日
- 居室改修
- E-mail morinokaze@eiraku.or.jp
- URL <http://www.eiraku.or.jp>

施設紹介写真



- 左上：とうみやの杜 完成予想図
- 中上：室内
- 右上：キッチン
- 左下：おもちゃ美術館
- 中下：浴室入口



入居定員

定員別	個室	2人	3人	4人	その他	居室合計	入居総定員
部屋数	60室	0室	0室	0室	0室	60室	60名

職員体制

◆ 1:1.7

入居待機状況

平成25年11月1日現在

178名

入居経費概要

居室使用料	1日 1,970円
食事費	1日 1,380円
光熱水費	
その他	月 1,000円 (貴重品管理)
月額合計	基本介護費(介護度5の場合) + 介護保険外費用で、131,957円 (介護度1の場合) + 介護保険外費用で、123,286円 ※詳しいことは、入居のご相談の際ご説明をさせていただきます。

施設の特徴

平成11年、富谷町は「自分の親を入居させても後ろ髪をひかれない施設」「地域の人々が行きかう施設」を作りたいという想いをもって施設整備に着手しました。それを受けた宮城県からは「その想いは個室ユニット型でなければ叶わない」との指導を受け現在の設計にたどり着きました。しかし、当時は個室ユニット型の施設の運営については未知の世界に近い状態でしたので、法人では異例でありましたが、開設の10ヶ月前に準備室を設置し、勉強会を始めました。集団ケアの技術では対応できないと気づいたものの、その解釈に大きなギャップがありました。ギャップを埋めるための一つ的手段として『杜の風基本理念』を作成し、運営方針やケアの基準を示し「サービス提供先行型ケア」から「個」を見つめ“自己実現に向けたケア”へと転換をしました。そこで感じたことは、従来型でのケアシステムでは対応できないということでした。ひとつひとつのケアを根底から見直し、杜の風ならではの“拘り”をもったケアの確立ができるよう日々試行錯誤しています。

生活者一人ひとりが“その人らしく”生活できる場、「我が家」を目指して、毎日の生活支援をさせて頂いております。その人らしい生活、寄り添うケアを「ケアシステム」として確立すること、そして、家族・地域社会・施設が三位一体とならなければ生活者の自己実現へ向けた自立的な生活が成り立たないと考えました。杜の風では、一方的なサービス提供型の従来のケアから脱皮し、自立支援や家庭的な生活支援を行っています。

生活者がいかに暮らしを満喫できるか、それがケアプランに反映されるべきだと考えます。出来ないことにフォーカスするのではなく、どんなことでも出来ることを見つけて、支援する、その場しのぎにしかない介護ではない生活支援を目指しています。暮らしをケアの道具にし、ここで暮らす方々の些細な想いもしっかりと受け止め、入居者の方々が、明るく楽しい生活がおくれるよう、職員一人ひとりが、親身になって、安らぎのあるもうひとつの家庭作りをめざしています。

特別養護老人ホーム



杜の里

- 経営主体 社会福祉法人 杜の里福祉会
- 所在地 宮城県仙台市若林区三本塚字権太 101 番地
- 電話・FAX TEL 022-289-7111 FAX 022-289-9333
- 開設年月 平成 11 年 4 月 1 日
- 居室改修
- E-mail morinosato3@mountain.ocn.ne.jp
- URL <http://www.morinosatofukushikai.com>

施設紹介写真



- 左上：中央廊下
- 中上：セミプライベートスペース
- 右上：リビングスペース
- 左下：リビングスペース
- 中下：居室内



入居定員

定員別	個室	2人	3人	4人	その他	居室合計	入居総定員
部屋数	室	0室	0室	0室	0室	室	名

職員体制

◆ 1:2.34

入居待機状況

平成24年6月1日現在

715名

入居経費概要

居室使用料	0～1,150 円（日額、介護保険負担限度額・認定証提示により異なる）
食事費	300～1,380 円（日額、介護保険負担限度額・認定証提示により異なる）
光熱水費	
その他	823 円（日額、要介護度 3 の場合、介護福祉施設サービス費・その他加算）
月額合計	33,690～100,590 円（上記合計、30 日分）

施設の特徴

ユニットケア創世時期の施設であります、ユニット単位でのケアを早くから実践しております。施設そのものにつきましては、和風の建築でゆったりとした空間を大切にした施設となっております。このゆったりとした環境がそこで生活していらっしゃるお年寄りの表情を穏やかなものとし、笑顔が絶えない施設であることが私たちの誇りです。

また介護を行っていく上で私たちはコンピュータに食事量・排泄量・睡眠・生活歴などを入力し、その記録を基にしてその後のケアの方向付けを行う、科学的根拠に基づいたケアを全利用者様に対して行っております。さらに、利用者ひとりひとりの生活歴を情報として入居の段階でご本人またはご家族より詳細に取得し、施設での生活を行っていただく際に、違和感なく馴染んでいただけるよう配慮し、かつその後のケアへの展開を図るなど、全人的ケアを基本としています。

特別養護老人ホーム

雄心苑



- 経営主体 社会福祉法人 旭壽会
- 所在地 宮城県石巻市雄勝町小島字和田 123 番地
- 電話・FAX TEL 0225-57-3612 FAX 0225-57-3615
- 開設年月 平成 9 年 4 月 1 日
- テイルーム改修 平成 17 年 3 月
- E-mail yuusin@smile.odn.ne.jp
- URL <http://www.care-net.biz/04/kyokujyukai/>

施設紹介写真



- 左上: 中間(リフト)浴槽
- 左下: 二人部屋
- 中上: 廊下とユニット食堂の一部
- 中下: 一人部屋
- 右上: ユニット食堂



入居定員

定員別	個室	2人	3人	4人	その他	居室合計	入居総定員
部屋数	44室	4室	0室	2室	0室	50室	60名

職員体制

◆ 1:2.4

入居待機状況

平成24年6月1日現在

143名

入居経費概要

居室使用料	月額 9,600 円。個室も多床扱いで 4 人部屋同一料金、尚、利用者負担額が第 1 段階の方は無料。 ※月額 は 30 日で計算
食事費	1日 300~1,380 円 月額 9,000 円~41,400 円
光熱水費	電気製品を個人的に持ち込んだ場合に発生。例:テレビ 1日 10 円
その他	預り金等の管理料(希望者のみ) 貴重品管理費 月額 1,000 円
月額合計	10,000 円~52,000 円 ※介護保険サービス利用料金自己負担除く。

施設の特徴

雄勝湾と太平洋を一望でき、緑豊かな丘陵地帯にある当施設は、内科嘱託医の週 1 回の回診の他、精神科医の回診が毎月 2 回、作業療法士の指導が毎月 1 回あり、救急医療機関として協力病院の石巻市雄勝診療所は車で 1 分、500m の場所にある。また、税理士による会計監査を毎月受け健全経営に努めている。施設内の各部署間をコンピューターシステムで連結し、サービスに関わる情報を迅速かつ正確に共有し、各種サービスに活かしている。法人内の 3 つの特別養護老人ホームの間で、職員交流研修、情報交換、各種データの比較検証等を定期的に行いサービスの向上に役立っている。職員から改善提案が定期的に提出され、サービスや施設経営の改善に活かしている。各居室は、トイレ・洗面所・冷暖房が完備。清掃も徹底し、清潔で明るい住環境の提供に努めている。寝具類は清潔を第一とし、ベットマットやカーテンの消毒クリーニングも定期的の実施している。各種行事やレクリエーション等の実施の他、個別に余暇活動支援を行い、基本的介護を徹底した上で、入居者一人ひとりが楽しみと生きがいを見いだせる施設を目指している。

特別養護老人ホーム

りんどう苑

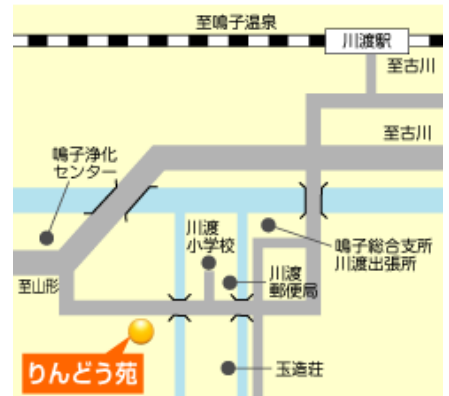


- 経営主体 社会福祉法人 加美玉造福社会
- 所在地 宮城県大崎市鳴子温泉字石ノ梅 33 番地
- 電話・FAX TEL 0229-84-7451 FAX 0229-84-7452
- 開設年月 平成4年4月1日
- 居室改修
- E-mail rindouen@titan.ocn.ne.jp

施設紹介写真



- 左上:居室
- 中上:中庭
- 右上:ホール
- 左下:D/R
- 右下:浴室



入居定員

定員別	個室	2人	3人	4人	その他	居室合計	入居総定員
部屋数	8室	2室	0室	12室	0室	22室	60名

職員体制

◆ 1:2.2

入居待機状況

平成24年6月1日現在
215名

入居経費概要

居室使用料	個室/1,150円 多床室/320円
食事費	1日 1,380円 1月 41,400円
光熱水費	
その他	日用品代等
月額合計	80,000円(多床室、介護度 5)

施設の特徴

りんどう苑は、平成18年3月に合併した大崎市西部に位置する、鳴子こけしと温泉で有名な、「鳴子温泉」(旧鳴子町)にあります。苑周辺は、閑静で、山河に囲まれて、豊かな自然に包まれたお年寄りの生活の場としては、最適な環境であります。

平成4年4月に特別養護老人ホームと併設し、デイサービスセンター、在宅介護支援センターを運営する総合的な老人福祉の拠点としてスタートしました。現在は在宅介護支援センターを旧鳴子町へ返還し、特別養護老人ホームとデイサービスセンターと平成16年4月1日より当法人で居宅介護支援事業所を立ち上げ、事業を展開しております。

りんどう苑の最も大きな特徴は、湯の街ならではの温泉を利用した入浴が出来ることです。歩ける方は勿論のこと、車椅子の方や寝たきりの方でも温泉に入れるのです。又施設内及び厨房は、オール電化システムとなっており、施設の暖房は、蓄熱式床暖房を一早く導入しました。この地域は冬場は氷点下10度くらいになりますが、足元からのやわらかな温かさは入居者の体に優しく、温泉浴共々大変喜ばれております。

当法人の経営理念に「福祉は人と心のふれあい」そして地域社会への貢献と利用者の満足の追及とあるように、りんどう苑では

① 自己決定に基づいて ②可能な限り自立して ③住み慣れた地域で安心して

を基本理念として安心して心豊かな生活と笑顔あふれる家庭的な生活が送れるようあせらず、あわてず全員が一步ずつ前進する施設を目指しています。さらに地域の協力を得ながら、あたり前のことができ、利用者本位の生活の場を提供できる施設です。

特別養護老人ホーム



楽園が丘

- 経営主体 社会福祉法人 大泉会
- 所在地 宮城県刈田郡蔵王町宮字下別当 72 番地
- 電話・FAX TEL 0224-32-2071 FAX 0224-32-2072
- 開設年月 平成 5 年 4 月 1 日
- 居室改修
- E-mail rakuen01@ji.jet.ne.jp

施設紹介写真



- 左上:桜の頃施設入口
- 中上:ケアステーション前
- 右上:居室廊下
- 左下:春の南庭
- 右下:併設のグループホーム



入居定員

定員別	個室	2人	3人	4人	その他	居室合計	入居総定員
部屋数	室	0室	0室	0室	0室	室	名

職員体制

◆ 1:3.00

入居待機状況

平成24年6月1日現在

122名

入居経費概要

居室使用料	居住費 320 円/日(所得階層により変動)
食事費	食費 1,380 円/日(所得階層により変動)
光熱水費	居室使用料に含まれます
その他	介護保険制度による加算(栄養マネジメント等)
月額合計	29,172 円~80,690 円(介護度、所得階層により変動)

施設の特徴

楽園が丘は大泉記念病院の110周年記念事業として開設されました。施設は約1万坪の敷地を有し、併設のグループホームふるさとと共に青麻山の麓に位置する風光明媚な高台にあり、遠く蔵王町一面の町や農地を見渡す事が出来ます。当施設の建物は鉄筋1階建て回廊型であるため、ご利用者様の心地よい運動、散策が出来ます。美しいバラの花で飾られる中庭は他にも十数種類の樹木が四季折々の花を咲かせ、日光浴などご利用者様の心を楽しませる空間となっております。広大な敷地内には百数十本の桜があり、春には見事に咲き誇ります。特に南側の庭園にはとところどころにベンチを配した遊歩道があり、ご利用者様がゆっくり散歩を楽しむことができます。この抜群の自然環境と空気の良さは施設の自慢でもあります。最後に医療面では、協力医療機関である大泉記念病院の全面的な支援を受けており、通常の診療はもちろん、夜間の迅速な救急対応や入院加療など安心して施設での生活が送れるように配慮しております。

〜〜〜なんだり・かんだり〜〜〜



食いしん坊のたわごと

相談役 鈴木 啓子



一万人委員会のサービス評価に加わらせていただいたお陰で、すばらしい高齢者施設のいくつかに出会うことができました。

お年寄りの楽しみは、なんといっても食事です。それに応えようと、この施設も栄養のバランスだけでなく、食欲をそそる趣向を工夫しておられます。

例えば、朝食にはパンかご飯のどちらかを、昼食にはめん類か丼物ご飯のどちらかを選択できるところや、ユニット毎に入所者の食べたいものを職員と一緒に作るという所では、自己選択、自己決定の思想が感じられます。

昔懐かしい「ひつみ」をユニットの住人と職員と一緒に野菜を切り、粉をこねる光景などとても微笑ましいですね。むしろ若い職員に野菜はこう切るもんだよ。」とか「こねたら寝か

しておくんだよ。」とか、人生の先輩が生き生きする瞬間でしょう。

誕生会のメニューは誕生日の人のリクエストで決めるところもありません。あんなのお陰で今日はおすしを食べられたよ。」と周囲の人も喜んだり。楽しそうですね。

お洒落をしてショッピングを楽しみ、レストランで外食するのモ人気行事です。銘々に好きなものを食べ、デザートに「毒ミルクはねえ、昔、野草園の近くに毒園があったねえ、アベックの溜まり場だったんだよ。よく行ったもんだ。」とAさん。その時の相手が今の旦那さんですか? 「すると「ん、ねえの、別の人だっちゃん。」で、大爆笑。話題は軽く宙を飛びます。幸せなひとときですね。みんな一緒に食べることは、なんと楽しいことでしょう。私も思わず、「こんな終の住処が得られたらなあと思われる今日この頃です。」

【編集後記】

新たな一年がスタートしました。新春号いかがでしたでしょうか? 今年も一年、社会の変化を的確に判断し、広い視野で良く見、確かな情報、そして楽しい情報をたくさん提供できま



すよう好奇心旺盛な編集員がスタンバイしております。今年もどうぞ会員の皆様のご協力よろしくお願ひ申し上げます。(荒井)

編集委員: 荒井勝子 兼平幸雄 前田泰子



特定非営利活動法人
介護の社会化を進める
一万人市民委員会宮城県民の会

〒983-0852
仙台市宮城野区榴岡4-2-8 □テルウエル仙台ビル2階
Tel: 022-293-8158 □ Fax: 022-293-8290
ホームページ: <http://www.ichimannin.com/>
Email: ichimannin@alpha.ocn.ne.jp